



6月議会は6月9日から6月19日まで行われ、令和7年度一般会計補正予算では、長年求めてきた18歳以下の子どもの医療費の「自己負担金500円」の無料化が8月1日から実現する事になりました。

《私の一般質問》



◎ R7年度一般会計補正予算の概要

○補正額 5,924.6万円増

○全議員の賛成で可決

《主な内容》

●=新規 ★=継続

●子どもの医療費無料化事業 405万円

★定額減税補足給付事業（不足分） 3,361万円

●夏季用ポロシャツ作成事業 152万円

（町職員の一体感・行政と町民の一体感を育むためポロシャツを作成する。職員は公式ポロシャツとして、職場・イベントで着用する。）

●花見ホタル水路改修 30万円

●大カエデ樹勢回復対策 33万円

●消防団員退職報償金（22名分） 87万円

●消防ホース購入（36本） 103万円

●創造館エレベーター修繕 106万円

【薄井賛成討論】夏用ポロシャツの「職員には被服貸与、町民は購入」は町民の理解が得られない面もある。町広報などで十分な説明を。



1. 実践的な避難所開設・運営訓練の実施を

(1)避難所運営マニュアルにある避難所を開設する町職員・地域住民は決まっているか。

《町長》避難所の開設は学校保育課・生涯学習課の職員が行うことになっている。開設する地域住民は決まっていないが、早期に自主防災会長と希望する施設管理者との顔合わせを行いたい。

(2)実践的な避難所開設・運営訓練を実施して欲しいが。

《町長》日本防災士協会長野県支部と連携し、来年度から各避難場に多くの方が参加する実践的な「避難所開設・運営」訓練を実施する。



2. 町民の健康課題への取り組みは

(1)池田町は県内の同規模人口町村のなかで糖尿病の方の割合が最も高い。また、子どもを含む糖尿病予備群の方も多い。

食物中のカリウム（野菜など）を多く摂るとは体内のナトリウムを排出するため高血圧症や糖尿病の予防に役立つ。宮城県登米市では7年前から特定健診時に尿ナトカリ比を測定し、健康指導に活かした結果、尿ナトカリ比・血圧の数値が低下している。当町でも健康指導に尿ナトカリ比の活用を。

※尿ナトカリ比とは：尿中に排泄されたナトリウム濃度とカリウム濃度の比を言う。食事から摂取したナトリウムの約90%、カリウムの70～80%が尿中に排泄されるので、尿ナトカリ比は食事のナトカリ比と同等として評価できる。

《町長》一回の尿データの値では誤った保健指導になる恐れがあり、研究課題とする。

【要望】日本高血圧学会の3年間の尿ナトカリ比大規模実証試験でも効果が確認されている。更なる検討をお願いしたい。

3. 各課の人口減少対策のアクションプラン策定を

(1)各課での人口減少対策をまとめ、アクションプランとして明文化して欲しいが。

《町長》明文化よりも人口減少対策の手をうつことが大切である。私の施政方針がアクションプランであると思っていただきたい。

【意見】町長は、人口減少対策には行政・議会・町民が力を合わせる必要があると言った。明文化したものがなければ力を合わせることはできない。明文化は必要である。

◎ 旧会染保育園の建物の無償譲渡と土地を10年間無償貸付する議案

○賛成多数で可決



《町説明》旧会染保育園に民間保育園を誘致することに新規保育事業を開設する。

・業者募集を行い2事業所が応募、選考会の結果有限会社 ネイチャーセンター（内田幸一代表長野市）に決定した。

・受け入れ園児数：1～6歳児の総計25名

・譲渡建物：建築面積 1,450㎡（園舎、車庫）

・貸付土地：面積 6,068㎡

・保育時間：8時～最大19時

・自園給食（アレルギー食対応）

・町民説明会を7月16日・18日に行う。建物修繕を行い、来年4月1日に開園予定である。

・建物修繕（1億円程度）の町負担は1/12～3/12で、町からネイチャーセンターへの補助金は1,600万円/年程度と推察される。

・ネイチャーセンターは自然保育を特徴としている。保護者の選択の幅が広がり、他町村からの移住が期待できる。

・民間保育園が旧会染保育園を使用することで指定避難所の維持管理ができる。

【薄井賛成討論】会染地区に保育園ができることは会染地域の親子にとって有益であり、人口増につながるの賛成する。